

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3901 URL https://www.marklines.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,585	17.7	1,454	22.7	1,454	22.6	1,006	21.4
2022年12月期第3四半期	3,046	20.0	1,185	31.2	1,185	32.3	828	34.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,103百万円(30.6%) 2022年12月期第3四半期 845百万円(26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	76.15	76.08
2022年12月期第3四半期	62.74	62.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	7,065	5,157	73.0
2022年12月期	6,096	4,437	72.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 5,157百万円 2022年12月期 4,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	21.2	1,900	17.0	1,900	17.1	1,300	14.1	98.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	13,215,200株	2022年12月期	13,215,200株
2023年12月期3Q	442株	2022年12月期	442株
2023年12月期3Q	13,214,758株	2022年12月期3Q	13,210,728株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日まで)において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

情報プラットフォーム事業については、1月に「オートモーティブ ワールド」(日本)、4月に上海モーターショー(中国)、9月にIAAミュンヘンモーターショー(ドイツ)に出展し、世界の顧客と直接対面営業を行いました。また、展示会取材により、カーメーカー各社や大手部品メーカーの最新情報を収集し、世界各国でのEV化やSDV(Software Defined Vehicle)などに対する自動車産業の趨勢の変化や動向を捉え、適時コンテンツに反映しました。ユーザーインターフェイスについても、モデルチェンジ予測や自動車メーカーの拠点情報の画面変更や、ヒートマップ分析をもとに利用頻度の高いコンテンツメニューの配置を最適化するなどユーザーの利便性向上の施策を実施しました。これらの結果、契約社数は前連結会計年度末から386社増加(前年同期327社増加)し5,046社となり5,000社を超えました。

分解調査データ販売事業については、カーメーカーや大手部品メーカーへの分解フルレポートやEVのバッテリー関連レポートが好調で前年同期を上回る結果となりました。コンサルティング事業については、コスト分析やECU調査などのベンチマーク関連の案件受注が好調に推移したことから、売上高、営業利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、7割近い顧客がリピート契約中、契約単価が100万円を超える顧客も増加した結果、売上高、営業利益ともに前年同期から約16%増加する結果となりました。市場予測情報販売事業については、第3四半期において契約更新率が若干低下したことや、Global DataによるLMC Automotive Ltd.買収に伴う社名変更の影響を受け、一時的に認知度が低下したことから、売上高は前年同期比微増にとどまりました。車両・部品調達代行事業については、日系カーメーカー製のe-アクスル関連部品への関心から受注が増加し、商談件数、成約件数ともに前年同期と同水準に回復しました。人材紹介事業については、第3四半期に入り一時的に成約件数が減少したため売上高は前年同期比微減となりました。自動車ファンド事業については、各組合員から受け取る管理報酬の内、当社比率に応じた額を売上高として四半期ごとに計上しております。第二号投資案件(2月)、第三号投資案件(6月)、さらには第四号投資案件(7月)を実行しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は売上高3,585百万円(前年同期比17.7%増加)、営業利益は1,454百万円(前年同期比22.7%増加)、経常利益は、1,454百万円(前年同期比22.6%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,006百万円(前年同期比21.4%増加)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間より、一部の報告セグメントについて区分及び名称を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

○ 事業セグメント別損益 (連結ベース)

		前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) (百万円)	増減率 (%)
情報プラットフォーム事業	売上高	1,941	2,303	+18.6
	セグメント利益	1,160	1,417	+22.1
分解調査データ販売事業	売上高	176	203	+14.9
	セグメント利益	87	88	+1.0
コンサルティング事業	売上高	239	349	+45.9
	セグメント利益	39	82	+108.8
プロモーション広告事業	売上高	58	67	+16.3
	セグメント利益	50	58	+16.1
市場予測情報販売事業	売上高	172	177	+2.6
	セグメント利益	46	55	+17.2
車両・部品調達代行事業	売上高	294	324	+10.1
	セグメント利益	38	54	+40.2
人材紹介事業	売上高	134	132	△1.6
	セグメント利益	54	54	+1.3
自動車ファンド事業	売上高	29	29	—
	セグメント利益	2	2	△7.2
売上高 計		3,046	3,585	+17.7
セグメント利益 計 ①		1,481	1,813	+22.5
部門共通費 ②		△295	△359	—
営業利益 計 ①-②		1,185	1,454	+22.7

- 情報プラットフォーム事業：売上高2,303百万円(前年同期比18.6%増加)、セグメント利益(営業利益)1,417百万円(前年同期比22.1%増加)

当第3四半期連結累計期間における情報プラットフォーム契約社数は前連結会計年度末から386社増加(前年同期327社増加)の5,046社となりました。北米第2拠点としてのメキシコ子会社も本格的に営業活動を開始しました。地域別売上高では、前第2四半期に続き、北米とアジアでそれぞれ30%を超える増加率となりました。

○ 情報プラットフォーム事業地域別売上高

地域	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	889	955	+7.5
中国	350	415	+18.4
アジア	289	387	+33.8
北米	198	275	+38.5
欧州	201	254	+26.3
その他	11	15	+31.3
合計	1,941	2,303	+18.6

- 分解調査データ販売事業：売上高203百万円(前年同期比14.9%増加)、セグメント利益(営業利益)88百万円(前年同期比1.0%増加)

当第3四半期連結累計期間における分解調査データ販売は、対象車両・コンポーネントの品揃えも増え、日系

カーメーカーからHyundai Ioniq 5のフルレポートの受注や、大手部品メーカーからの比較的高額な受注があったこと等から、売上高は前年同期を上回りました。一方で利益率が高い内製化レポートの売上が少なかったため、営業利益は前年同期比微増となりました。

- コンサルティング事業：売上高349百万円(前年同期比45.9%増加)、セグメント利益(営業利益)82百万円(前年同期比108.8%増加)

当第3四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、ベンチマークを目的としたコンサルティング案件が全体の4割を占めました。コンサルタントの増強が奏功し自動車メーカーから自動運転に関する実験も受注したため売上を伸ばしました。また、利益率の高い案件も増え、営業利益も前年同期を大きく上回りました。

- プロモーション広告事業(LINES)：売上高67百万円(前年同期比16.3%増加)、セグメント利益(営業利益)58百万円(前年同期比16.1%増加)

当第3四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、引き続き展示会やセミナーの集客ツールとして利用され、また情報プラットフォーム事業の顧客5,000社キャンペーンの実施などにより売上が安定的に増加しました。

- 市場予測情報販売事業：売上高177百万円(前年同期比2.6%増加)、セグメント利益(営業利益)55百万円(前年同期比17.2%増加)

当第3四半期連結累計期間の市場予測情報販売事業は、Global Dataへの社名変更の認知の遅れにより一時的にWEB広告の表示が減少したことや、契約更新率も7割弱と微減した影響から売上高は前年同期比微増に留まりました。営業利益は固定費の減少も寄与し、前年同期を上回る結果となりました。

- 車両・部品調達代行事業：売上高324百万円(前年同期比10.1%増加)、セグメント利益(営業利益)54百万円(前年同期比40.2%増加)

当第3四半期連結累計期間における車両・部品調達代行事業は、受注社数の内、8割近い顧客がリピーターとなったことや、トヨタやTesla等のEV関連部品が増加したため第2四半期までの落ち込みを回復し、特に営業利益は前年同期を大きく上回りました。

- 人材紹介事業：売上高132百万円(前年同期比1.6%減少)、セグメント利益(営業利益)54百万円(前年同期比1.3%増加)

当第3四半期連結累計期間の人材紹介事業は、第3四半期の成約件数が16件(前年同期24件)と前年同四半期比で減少した影響を受け、成約件数累計では66件(前年同期64件)にとどまり売上高は前年同期比微減となりました。一方で、営業利益については固定費が減少したことから前年同期比で微増となりました。なお、シニア人材登録システムの運用を2社目(カーメーカー)へ展開しました。

- 自動車ファンド事業：売上高29百万円(前年同期比-)、セグメント利益(営業利益)2百万円(前年同期比7.2%減少)

当第3四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、2月の第二号投資案件、6月の第三号投資案件に続き、7月に第四号投資案件として、コネクテッド・カー領域を対象とした事業を行うスタートアップ企業「オーガニック・モビリティ株式会社」(日本)への投資を実行しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表しました2023年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,752,630	5,107,297
売掛金	313,815	251,763
商品	10,039	21,107
仕掛品	874	12,470
前渡金	31,527	15,986
前払費用	29,676	31,119
その他	8,343	9,239
貸倒引当金	△3,118	△2,451
流動資産合計	5,143,788	5,446,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,944	38,858
減価償却累計額	△8,222	△10,209
建物及び構築物（純額）	18,722	28,648
土地	348,997	367,207
建設仮勘定	-	235,994
その他	50,562	67,511
減価償却累計額	△40,827	△47,389
その他（純額）	9,735	20,121
有形固定資産合計	377,455	651,971
無形固定資産		
ソフトウェア	25,423	39,913
その他	8,130	9,480
無形固定資産合計	33,553	49,393
投資その他の資産		
投資有価証券	395,345	721,833
破産更生債権等	752	2,020
長期前払費用	604	21
敷金及び保証金	98,289	99,063
長期預金	-	61,980
繰延税金資産	47,786	34,992
貸倒引当金	△752	△2,020
投資その他の資産合計	542,025	917,890
固定資産合計	953,034	1,619,256
資産合計	6,096,822	7,065,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,803	94,227
未払金	14,207	9,789
未払費用	42,552	40,393
未払法人税等	266,715	198,937
未払消費税等	46,543	44,935
前受金	1,159,956	1,418,373
役員賞与引当金	11,000	9,750
預り金	20,731	14,870
賞与引当金	12,151	66,472
その他	44	409
流動負債合計	1,651,705	1,898,159
固定負債		
退職給付に係る負債	7,949	9,851
固定負債合計	7,949	9,851
負債合計	1,659,654	1,908,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,351	371,351
資本剰余金	289,158	289,158
利益剰余金	3,751,539	4,374,615
自己株式	△784	△784
株主資本合計	4,411,265	5,034,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,213	55,490
為替換算調整勘定	38,115	67,946
その他の包括利益累計額合計	25,902	123,436
純資産合計	4,437,168	5,157,778
負債純資産合計	6,096,822	7,065,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,046,350	3,585,928
売上原価	1,081,818	1,234,718
売上総利益	1,964,531	2,351,210
販売費及び一般管理費		
販売促進費	13,256	15,202
販売手数料	700	651
広告宣伝費	10,609	11,222
役員報酬	41,055	44,967
給料及び手当	363,904	415,633
賞与引当金繰入額	33,052	40,176
退職給付費用	8,735	10,342
法定福利費	64,190	76,163
減価償却費	7,388	7,413
貸倒引当金繰入額	585	600
賃借料	52,339	57,367
その他	183,286	217,007
販売費及び一般管理費合計	779,103	896,749
営業利益	1,185,428	1,454,461
営業外収益		
受取利息	4,218	5,207
受取配当金	4,617	5,633
為替差益	5,629	408
その他	2,305	4,370
営業外収益合計	16,771	15,620
営業外費用		
持分法による投資損失	16,025	16,027
その他	221	0
営業外費用合計	16,246	16,027
経常利益	1,185,952	1,454,053
税金等調整前四半期純利益	1,185,952	1,454,053
法人税、住民税及び事業税	365,354	459,768
法人税等調整額	△8,190	△12,018
法人税等合計	357,164	447,749
四半期純利益	828,788	1,006,303
親会社株主に帰属する四半期純利益	828,788	1,006,303

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	828,788	1,006,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,817	56,220
為替換算調整勘定	35,070	29,830
持分法適用会社に対する持分相当額	-	11,482
その他の包括利益合計	16,253	97,533
四半期包括利益	845,041	1,103,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845,041	1,103,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	プロモーション広告事業	市場予測情報販売事業	車両・部品調達代行事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,941,505	176,705	239,269	58,076	172,462	294,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,941,505	176,705	239,269	58,076	172,462	294,655
セグメント利益	1,160,861	87,370	39,581	50,709	46,958	38,819
	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)	
	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	134,355	29,319	3,046,350	—	3,046,350	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	134,355	29,319	3,046,350	—	3,046,350	
セグメント利益	54,179	2,553	1,481,034	△295,606	1,185,428	

(注) 1. セグメント利益の調整額△295,606千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	プロモーション広告事業	市場予測情報販売事業	車両・部品調達代行事業
売上高						
外部顧客への売上高	2,303,415	203,056	349,094	67,520	177,017	324,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,303,415	203,056	349,094	67,520	177,017	324,289
セグメント利益	1,417,325	88,266	82,646	58,871	55,014	54,439
	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)	
	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	132,215	29,319	3,585,928	—	3,585,928	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	132,215	29,319	3,585,928	—	3,585,928	
セグメント利益	54,874	2,370	1,813,808	△359,347	1,454,461	

(注) 1. セグメント利益の調整額△359,347千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ベンチマーキング関連事業」は、「分解調査データ販売事業」及び「車両・部品調達代行事業」の2事業から構成されておりましたが、それぞれの事業の量的・質的重要性が高まったことから、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「ベンチマーキング関連事業」から、「分解調査データ販売事業」「車両・部品調達代行事業」に変更しております。

また、当第3四半期連結会計期間より、「LMC Automotive Ltd.製品(市場予測情報)販売事業」としていたセグメント名称を「市場予測情報販売事業」に変更しております。当該名称変更に伴うセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。